

染毛剤に添付する文書等に記載する使用上の注意

別表1/別表2/別表2-2 対比表 (参考資料)

別表1 酸化染毛剤及び非酸化染毛剤	別表2 脱色剤・脱染剤	別表2-2 過硫酸塩配合の脱色剤・脱染剤
<p>使用説明書の表面部分</p> <p>・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。</p> <p>・ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。</p> <p>・ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。</p> <p>・今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。</p>	<p>使用説明書の表面部分</p> <p>・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。</p>	<p>使用説明書の表面部分</p> <p>・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。</p> <p>・本品は過硫酸塩配合の製品です。まれに重篤なアレルギー反応を起こすことがあります。</p> <p>・今までに過硫酸塩配合の製品でかぶれたことのある方は絶対に使用しないでください。</p>
使用説明書	使用説明書	使用説明書
使用上の注意	使用上の注意	使用上の注意
1. 次の方は使用しないでください。	1. 次の方は使用しないでください。	1. 次の方は使用しないでください。
① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方	① 今までに本品でかぶれたことのある方	① 今までに本品に限らず過硫酸塩配合の製品でかぶれたことのある方
② 染毛中または直後に、じんま疹（かゆみ、発疹、発赤）あるいは気分の悪さ（息苦しさ、めまい等）を経験したことのある方		② 過硫酸塩配合の製品で、使用中又は直後にかぶれ、じんま疹（かゆみ、発疹、発赤）あるいは気分の悪さ（息苦しさ、めまい等）を経験したことのある方

別表 1 酸化染毛剤及び非酸化染毛剤	別表 2 脱色剤・脱染剤	別表 2-2 過硫酸塩配合の脱色剤・脱染剤
<p>③ 皮膚アレルギー試験（パッチテスト）の結果、皮膚に異常を感じた方</p> <p>④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方（病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等）</p> <p>⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方</p> <p>⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方</p> <p>⑦ 体調不良の症状が持続する方（微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等）</p>	<p>② 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方（病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等）</p> <p>③ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方</p> <p>④ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方</p>	<p>③ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方（病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等）</p> <p>④ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方</p> <p>⑤ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方</p>
<p>2. 使用前のご注意</p> <p>① 染毛の2日前（48時間前）には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。</p>	<p>2. 使用前のご注意</p>	<p>2. 使用前のご注意</p>

別表 1 酸化染毛剤及び非酸化染毛剤	別表 2 脱色剤・脱染剤	別表 2-2 過硫酸塩配合の脱色剤・脱染剤
<p>(a) 使用する薬液を使用方法に定められた割合で混合し、テスト液を数滴つくりま す。</p> <p>(b) テスト液ができましたら、腕の内側に 10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾 燥させてください（塗った部分が30 分位しても乾かない場合は、ティッシ ュペーパー等で軽く拭き取ってくだ さい）。</p> <p>(c) そのまま触れずに48時間放置します （時間を必ず守ってください）。</p> <p>テスト液を塗ったところは絆創膏等 で覆わないでください。</p> <p>(d) 塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水泡、 刺激等の皮膚の異常があった場合に は、手等でこすらないで直ちに洗い落 とし、染毛しないでください。途中、 48時間以前であっても、同様の皮膚 の異常を感じた場合には、直ちにテス トを中止し、テスト液を洗い落として 染毛しないでください。</p> <p>(e) 48時間経過後、異常がなければ染毛 してください。</p>		

別表 1 酸化染毛剤及び非酸化染毛剤	別表 2 脱色剤・脱染剤	別表 2-2 過硫酸塩配合の脱色剤・脱染剤
<p>② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。</p> <p>③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るおそれがあります。</p> <p>④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。</p> <p>⑤ 染毛の前々後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。</p> <p>3. 使用時のご注意</p> <p>① 薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。</p> <p>② 換気のよいところで使用してください。</p> <p>③ 必ず添付の手袋を着用してください。</p> <p>④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るおそれがあります。</p> <p>⑤ 薬液が顔、首筋等につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。</p>	<p>① 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。</p> <p>② 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るおそれがあります。</p> <p>③ 顔そり直後は使用しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。</p> <p>④ 使用の前々後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めることがあります。</p> <p>3. 使用時のご注意</p> <p>① 薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。</p> <p>② 換気のよいところで使用してください。</p> <p>③ 必ず添付の手袋を着用してください。</p> <p>④ 使用中に入浴したり、使用する前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るおそれがあります。</p> <p>⑤ 薬液が顔、首筋等につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。</p>	<p>① 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。</p> <p>② 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るおそれがあります。</p> <p>③ 顔そり直後は使用しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。</p> <p>④ 使用の前々後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めることがあります。</p> <p>3. 使用時のご注意</p> <p>① 薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。</p> <p>② 換気のよいところで使用してください。</p> <p>③ 必ず添付の手袋を着用してください。</p> <p>④ 使用中に入浴したり、使用する前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るおそれがあります。</p> <p>⑤ 薬液が顔、首筋等につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。</p>

別表 1 酸化染毛剤及び非酸化染毛剤	別表 2 脱色剤・脱染剤	別表 2-2 過硫酸塩配合の脱色剤・脱染剤
<p>⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷（角膜の炎症等）を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診察を受けてください。</p> <p>⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。</p> <p>⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診察を受けてください。</p>	<p>⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷（角膜の炎症等）を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診察を受けてください。</p>	<p>⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷（角膜の炎症等）を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診察を受けてください。</p> <p>⑦ 使用中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。</p> <p>⑧ 使用後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診察を受けてください。</p>
<p>4. 取り扱い上のご注意</p> <p>① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。</p> <p>② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。危険です。</p> <p>5. 保管上のご注意</p>	<p>4. 取り扱い上のご注意</p> <p>① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。</p> <p>② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。危険です。</p> <p>5. 保管上のご注意</p>	<p>4. 取り扱い上のご注意</p> <p>① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。</p> <p>② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。危険です。</p> <p>5. 保管上のご注意</p>

別表 1 酸化染毛剤及び非酸化染毛剤	別表 2 脱色剤・脱染剤	別表 2-2 過硫酸塩配合の脱色剤・脱染剤
<p>① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p> <p>② 高温や直射日光をさけて保管してください。</p>	<p>① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p> <p>② 高温や直射日光をさけて保管してください。</p>	<p>① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p> <p>② 高温や直射日光をさけて保管してください。</p>
<p>6. ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて</p> <p>ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の毛の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、最後に「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応（全身じんま疹、呼吸困難など）等が突然起こることがあります。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。</p>		<p>6. 過硫酸塩配合の製品によるアレルギーのリスクについて</p> <p>過硫酸塩配合の製品を使用中又は直後に、まれに過硫酸塩によってアレルギー反応が突発的に起こることがあります。とりわけ「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応（全身じんま疹、呼吸困難、意識障害など）も起こることがあります。このようなアレルギー反応を経験された方は、絶対に使用しないでください。</p>

令和3年自主基準別表1 / 平成28年自主基準別記1 対比表 (参考資料)

令和3年自主基準別表1	平成28年自主基準別記1	コメント
	表面部分	令和3年自主基準では2行を一つにまとめた。意味範囲に変更はない
使用説明書の表面部分	使用説明書(注1)	(注1)は、細則第3条及び第4条で規定 新旧同文
・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。	・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。	
・ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。	・ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。	新旧同文
・ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。	・ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。	新旧同文
・今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。	・今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。	新旧同文
使用説明書		令和3年自主基準で最初の2行を一つにまとめたことに対応して、文書のタイトルとして設定。意味範囲に変更はない
使用上の注意	使用上の注意	新旧同文
1. 次の方は使用しないでください。	1. 次の方は使用しないでください。	新旧同文
① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方	① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方(注2)	(注2)は、細則第9条第1項で規定

令和3年自主基準別表1	平成28年自主基準別記1	コメント
<p>② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方</p>	<p>② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方</p>	<p>新旧同文</p>
<p>③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方</p>	<p>③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方</p>	<p>新旧同文</p>
<p>④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)</p>	<p>④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方</p>	<p>⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方</p>	<p>⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)</p>	<p>⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)</p>	<p>新旧同文</p>
<p>2. 使用前のご注意</p>	<p>2. 使用前のご注意</p>	<p>新旧同文</p>



令和3年自主基準別表1	平成28年自主基準別記1	コメント
<p>① 染毛の2日前（48時間前）には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。</p>	<p>① 染毛の2日前（48時間前）には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。（注3）</p>	<p>（注3）は、細則第10条で規定</p>
<p>(a) 使用する薬液を使用方法に定められた割合で混合し、テスト液を数滴つくりま</p>	<p>(a) 使用する薬液を使用方法に定められた割合で混合し、テスト液を数滴つくりま</p>	<p>新旧同文</p>
<p>(b) テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させてください（塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパーで軽く拭き取ってください）。</p>	<p>(b) テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させてください（塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパーで軽く拭き取ってください）。</p>	<p>新旧同文</p>

令和3年自主基準別表1	平成28年自主基準別記1	コメント
(c) そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。	(c) そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。	新旧同文
(d) 塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛しないでください。	(d) 塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛しないでください。	新旧同文
(e) 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。	(e) 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。	新旧同文
② 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。	② 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。	新旧同文
③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るとおそれがあります。	③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るとおそれがあります。	新旧同文
④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。	④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。	新旧同文



令和3年自主基準別表1	平成28年自主基準別記1	コメント
<p>⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷（角膜の炎症等）を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診察を受けてください。</p>	<p>⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷（角膜の炎症等）を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診察を受けてください。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。</p>	<p>⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診察を受けてください。</p>	<p>⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診察を受けてください。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>4. 取り扱い上のご注意</p>	<p>4. 取り扱い上のご注意（注6）</p>	<p>（注6）は、細則第16条で規定</p>
<p>① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。</p>	<p>① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。（注4）</p>	<p>（注4）は、細則第8条で規定</p>
<p>② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。</p>	<p>② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。（注4）</p>	<p>（注4）は、細則第8条で規定</p>

令和3年自主基準別表1	平成28年自主基準別記1	コメント
<p>5. 保管上のご注意</p> <p>幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p> <p>高温や直射日光をさけて保管してください。</p>	<p>5. 保管上のご注意</p> <p>① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p> <p>② 高温や直射日光をさけて保管してください。(注7)</p>	<p>新旧同文</p> <p>新旧同文</p> <p>(注7)は、細則第11条で規定</p>
<p>6. ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて</p> <p>ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の毛の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応（全身じんま疹、呼吸困難など）等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。</p>	<p>6. ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて</p> <p>ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の毛の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応（全身じんま疹、呼吸困難など）等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。(注8)</p>	<p>新旧同文</p> <p>(注8)は、細則第14条で規定</p>

令和3年自主基準別表2・平成28年自主基準別記Ⅱ 対比表

令和3年自主基準別表2	平成28年自主基準別記Ⅱ	コメント
	表面部分	令和3年自主基準では2行を一つにまとめ た。意味範囲に変更はない
使用説明書の表面部分	使用説明書(注1)	(注1)は、細則第3条及び第4条で規定 新旧同文
・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正し くお使いください。	・ご使用の際は必ず最後までよく読んで正し くお使いください。	
使用説明書		令和3年自主基準で最初の2行を一つにま とめたことに対応して、文書のタイトルとし て設定。意味範囲に変更はない
使用上の注意	使用上の注意	新旧同文
1. 次の方は使用しないでください。	1. 次の方は使用しないでください	新旧同文
① 今までに本品でかぶれたことのある方	① 今までに本品でかぶれたことのある方 (注2)	(注2)は、細則第9条第1項で規定
② 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっ ている方(病中、病後の回復期、生理時、 妊娠中等)	② 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっ ている方(病中、病後の回復期、生理時、妊 娠中等)	新旧同文
③ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病 がある方	③ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病が ある方	新旧同文
④ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方	④ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方	新旧同文

令和3年自主基準別表2	平成28年自主基準別記II	コメント
	⑤ 過硫酸塩配合の脱色剤で、かぶれ、じんま疹（かゆみ、発疹、発赤）あるいは気分の悪さ（息苦しさ、めまい等）を経験したことのある方（注3）	別表の定義に従い、別表2では削除し、新設の別表2-2に移動
2. 使用前のご注意	2. 使用前のご注意	新旧同文
① 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。	① 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。	新旧同文
② 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るとおそれがあります。	② 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るとおそれがあります。	新旧同文
③ 顔そり直後は使用しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。	③ 顔そり直後は使用しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。	新旧同文
④ 使用の前1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めることがあります。	④ 使用の前1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めることがあります。	新旧同文
3. 使用時のご注意	3. 使用時のご注意	新旧同文
⑤ 薬液は使用前に混合し、直ちに使用してください。	① 薬液は使用前に混合し、直ちに使用してください。（注4）	（注4）は、細則第8条で規定
⑥ 換気のよいところで使用してください。	② 換気のよいところで使用してください。（注4）	（注4）は、細則第8条で規定
⑦ 必ず添付の手袋を着用してください。	③ 必ず添付の手袋を着用してください。（注5）	（注5）は、細則第9条第2項で規定

令和3年自主基準別表2	平成28年自主基準別記II	コメント
<p>⑧ 使用中に入浴したり、使用前の前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るとおそれがあります。</p>	<p>④ 使用中に入浴したり、使用前の前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るとおそれがあります。(注4)</p>	<p>(注4) は、細則第8条で規定</p>
<p>⑨ 薬液が顔、首筋等につかないようしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。</p>	<p>⑤ 薬液が顔、首筋等につかないようしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑩ 液や洗髪時の洗い液が目に入らないように入ってください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。</p>	<p>⑥ 薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないように入ってください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>⑪ 使用後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。</p>	<p>⑦ 使用後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>4. 取り扱い上のご注意</p>	<p>4. 取り扱い上のご注意(注6)</p>	<p>(注6) は、細則第16条で規定</p>
<p>① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。</p>	<p>① 混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。(注4)</p>	<p>(注4) は、細則第8条で規定</p>



令和3年自主基準別表2	平成28年自主基準別記II	コメント
<p>② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。</p>	<p>② 混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。(注4)</p>	<p>(注4) は、細則第8条で規定</p>
<p>5. 保管上のご注意</p>	<p>5. 保管上のご注意</p>	<p>新旧同文</p>
<p>① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p>	<p>① 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。</p>	<p>新旧同文</p>
<p>② 高温や直射日光をさけて保管してください。</p>	<p>② 高温や直射日光をさけて保管してください。(注7)</p>	<p>(注7) は、細則第11条で規定</p>